安全データシート

［混合物用(塗料用)］

1. 化学物質等及び会社情報

製品名　オイルステインA　メープル
種類　合成樹脂エナメル塗料
主な用途　家庭用
会社名　株式会社カンペハピオ
住所　〒675-1322　兵庫県小野市匠台3番地
担当部門　技術部　TEL No.0794-64-0002
担当者　技術部　部長　FAX No.0794-64-0055
作成者　長崎　修　~~作成~~・改定　2017年3月7日
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ　http://www.kanpe.co.jp
緊急連絡先　技術部　TEL No.0794-64-0002　FAX No.0794-64-0055

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

引火性液体		区分3
急性毒性	経口	区分外
	経皮	区分外
	吸入　(ガス)	分類対象外
	(蒸気)	区分4
	(粉塵、ミスト)	分類できない
皮膚刺激／腐食性		区分2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		区分2
呼吸器感作性　固体／液体		分類できない
気体		分類できない
皮膚感作性		区分外
生殖細胞変異原性		区分外
発がん性		区分2
生殖毒性		区分1
授乳に対する、または授乳を介した影響		分類できない
特定標的臓器／全身毒性(単回ばく露)		区分1　(中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓)
		区分3　(麻酔作用)
特定標的臓器／全身毒性(反復ばく露)		区分1　(神経系、呼吸器)
		区分2　(肝臓、精巣)
吸引性呼吸器有害性		区分1
水生環境有害性(急性)		区分1
水生環境有害性(慢性)		区分1
オゾン層への有害性		分類できない

【GHSラベル要素】



危険

【危険有害性情報】

・引火性液体および蒸気
・吸入すると有害
・皮膚刺激
・強い眼刺激
・発がんのおそれの疑い
・生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
・飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
・臓器の障害
・眠気やめまいのおそれ
・長期にわたる又は反復暴露による臓器の障害
・長期継続的影響によって水性生物に非常に強い毒性

3. 組成及び成分情報

成分及び含有量(危険有害性物質を対象)

成分名	CAS No.	含有量(Wt%)	PRTR対象物質(1%未満通知不要)
ｷｼﾚﾝ	1330-20-7	31	(1種)
ﾐﾈﾗﾙｽﾋﾟﾘｯﾄ	8052-41-3	27	
ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	100-41-4	31	(1種)
1,2,4-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	95-63-6	2.3	(1種)

4. 応急処置

《眼に入った場合》

・直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
・できるだけ早く医師の診断を受けること。

《皮膚に付着した場合》

・付着物を布で素早く拭き取る。
・汚染された衣類を取り除くこと。
・大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーなどは使用しないこと。
・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

《吸入した場合》

・蒸気、ガスなどを吸込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。
・呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。

《飲み込んだ場合》

・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
・嘔吐物は飲み込ませないこと。
・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火災時の処置

《使用可能な消火剤》

水〔 〕、炭酸ガス〔 ○ 〕、泡〔 ○ 〕、粉末〔 ○ 〕
乾燥砂〔 ○ 〕、その他〔 〕

《消火方法》

・適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
・可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
・高温にさらされる密閉容器は水をかけて冷却する。
・消火活動は風上から行う。
・指定の消火器を使用する。水を消火に用いてはならない。

6. 漏出時の処置

・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
・付近の着火原、高温体及び付近の可燃物を速やかに取り除く。
・着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
・衝撃、静電気に備えて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
・漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
・乾燥砂・土・その他不燃性のものに吸収させ、大量の流出には盛り土などで囲って防止する。
・付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置をする。
・河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

《取扱い上の注意》

・換気の良い場所で取り扱い、容器はその都度密栓する。
・周囲での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
・静電気対策のため装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)のものとする。
・工具は火花防止型のものを用いる。
・使用済みウエス・塗料カス・スプレーダスト等は廃棄するまでの間、水に漬けておく。
・皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、眼に入らぬよう適切な保護具を着用する。
・取り扱い後は手、顔等をよく洗い、休憩所などに手袋等の汚染保護具は持ち込まない。
・密閉された場所における作業には、充分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。
・塗料製品、廃塗料などは、悪臭防止法の悪臭物質に該当するので、取扱いにはこの法規に準じて行う。

《保管上の注意》
・日光の直射を避け、通風の良いところに保管し、蒸気が滞留しないようにする。
・火気、熱源から遠ざける。
・水回りや湿度の高いところ、酸性雰囲気の場所などに置くと、容器が錆びて内容物が漏出する恐れがあるので、腐食しやすい場所で保管しないこと。

8. 暴露防止及び保護措置
《組成物質の有害性及び暴露濃度基準》

物質名	管理濃度	ACGIH(TLV)	その他の有害性
ｷｼﾚﾝ	50ppm	100ppm	LD_{50}(rat,経口):4,300mg/kg
ﾐﾈﾗﾙｽﾋﾟﾘｯﾄ	—	100ppm	LD_{50}(rat,経口):28,300mg/kg
ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	20ppm	10ppm	LD_{50}(rat,経口):3,500mg/kg
1,2,4-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	—	25ppm	LD_{50}(rat,経口):5,000mg/kg

《設備対策》
・排気装置を付け、蒸気が滞留しないようにする。
・取扱い場所の近くに高温・発火源となるものが置けない設備にする。
・液体の輸送・汲取り・撹拌等の装置は接地する。
・取扱い設備は防爆型を使用する。
・屋内塗装の場合、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるようにする。
・タンク内部等の密閉場所で作業する場合、底部まで充分に換気できる装置を取付ける。
《保護具》
・呼吸系の保護具　有機ガス用防毒マスクを着用する。密閉された場所では送気マスクを着用する。
・手の保護具　有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
・目の保護具　保護メガネを着用する。
・皮膚及び身体の保護　皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

状態:(容器中)液体	色:メープル	臭気:有機溶剤臭
pH値:該当せず	融点:該当せず	沸点:138～200℃
引火点:29℃	発火点:250℃	蒸気圧:情報なし
爆発限界:(下限)1.1Vol%	(上限)7.0Vol%	密度(比重):0.85
溶解度:情報なし	n-ｵｸﾀﾉｰﾙ／水分配係数:情報なし	分解温度:情報なし
蒸気密度:情報なし	その他:特になし	

10. 安定性及び反応性
《反応性・安定性》
接触により危険性のある物質:情報を有していない。
燃焼などによる有害性ガスの発生:CO、Nox等
その他の反応性情報:樹脂成分は空気中で酸化し、発熱、蓄熱される条件では自然発火の恐れ。
その他の危険性情報:情報を有していない。

11. 有害性情報
《組成物質の有害性及び暴露濃度基準》

物質名	皮	眼	呼	変	発	生	単			反		吸	水急	水慢	ｵｿﾞﾝ
ｷｼﾚﾝ	2	2A				1B	1		3	1		2	2	2	
ﾐﾈﾗﾙｽﾋﾟﾘｯﾄ	2								3		2	1	1	1	
ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	3	2B			2	1B		2	3			1	1		
1,2,4-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ									3		2	1	2	2	

略記号　皮:皮膚腐食性・刺激性　眼:眼に対する重篤な損傷・刺激性
呼:呼吸器感作性または皮膚感作性　変:生殖細胞変異原性
発:発がん性　生:生殖毒性
単:特定臓器・全身毒性—単回暴露　反:特定臓器・全身毒性—反復暴露
吸:吸引呼吸器有害性　水急:水性環境有害性—急性
水慢:水性環境有害性—慢性　ｵｿﾞﾝ:ｵｿﾞﾝ層への有害性
《その他の有害性情報》
製品としての安全性試験は行っていない。

12. 環境影響情報
・漏洩、廃棄の際、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。
・生態毒性:情報を有していない。
・残留性・分解性:情報を有していない。
・生態蓄積性:情報を有していない。
・土壌中の移動性:情報を有していない。

13. 廃棄上の注意
《残余廃棄物》
・塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた廃棄物処理業者と委託契約して処理する。
・容器、機器装置等を洗浄した排水等は地面や排水溝へそのまま流さない。
・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても“廃棄物の処理及び清掃に関する法律”並びに関係する法規に従って処理するか業者に委託する。
・廃塗料等を焼却する場合、珪藻土等に吸着させて開放型の焼却炉で少量ずつ処理する。
・塗料製品、廃塗料などは、悪臭防止法の悪臭物質に該当するので、廃棄にはこの法規に準じて行う。
《汚染容器及び包装》
・空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
・許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14. 輸送上の注意
《共通》
・取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、崩れ防止を確実に行うこと。
《国内規制》
・陸上輸送:それぞれの該当法律に定められた運送方法に従う。
・海上輸送:船舶安全法に定めるところに従う。
・航空輸送:航空法に定めるところに従う。
・国連番号:1263

15. 主な適用法令
・労働安全衛生法
・有機溶剤中毒防止規則:第2種有機溶剤等
・消防法:危険物 第4類 引火性液体 第2石油類 非水溶性液体
・PRTR法:ｷｼﾚﾝ(物質番号80)、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ(物質番号53)
1,2,4-ﾄﾘﾒﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ(物質番号296) (該当物質1%以上含有が対象)
・悪臭防止法
・特定化学物質等障害予防規則:第2条第2項(第2類物質)

16. その他の情報
・主な引用文献: 原材料データベース (社)日本塗料工業会
GHS対応 SDS・ﾗﾍﾞﾙ作成ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ〔混合物用(塗料用)〕改訂第2版(社)日本塗料工業会
ﾓﾃﾞﾙMSDS・ﾓﾃﾞﾙﾗﾍﾞﾙ事例集〔混合物(塗料用)〕 (社)日本塗料工業会
NITE公表ﾃﾞｰﾀ 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

〔注意〕
・本データシートは、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。
当該製品の危険・有害性に関する情報及び評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも充分なものではありません。
ご使用者の責任において安全な取扱方法をお決めください。
・本データシートは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。
・記載内容の中で含有量・物理化学的性質などの値は当該製品の品質とは関係ありません。
・この安全情報は国の規制を含む、(社)日本塗料工業会の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていません。
安全操業や排出・廃棄等の場合に配慮すべきことは、当該自治体の規制に従い対処してください。